

全国銀行学術研究振興財団 助成一覧（2017年度）

◇助成合計 [39 件 : 2,900 万円]

(1) 研究活動に対する助成 [36 件 : 2,570 万円]

① 経済分野 [23 件 : 1,595 万円]

助成コード	研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
1701	岩崎一郎	一橋大学経済 研究所教授	新興市場諸国の金融制度と経済成果：メ タ分析	85 万円	
1702	大住康之	兵庫県立大学 経済学部教授	金融、情報産業を想定した規模に関する 収穫逓増と長期分配の理論的・実証的研 究	60 万円	三宅敦史 神戸学院大学経済学部准教授
1703	大野早苗	武蔵大学経済 学部教授	外国証券投資における為替戦略：金利平 価からの乖離現象に関する検証	50 万円	
1704	折原正訓	早稲田大学商 学学術院助教	機関投資家は企業価値を向上させる か？：2014 年スチュワードシップ・コ ード策定を準自然実験と捉えた実証研究	80 万円	
1705	金村宗	京都大学大学 院総合生存学 館准教授	金融スキームを用いた再生可能エネルギ ービジネスに関するリスクマネジメント	50 万円	
1706	川上圭	青山学院大学 経済学部准教 授	市場型間接金融とマクロ経済	105 万円	Shuyun May Li メルボルン大学経済学部 Senior Lecturer

助成コード	研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
1707	澤田充	日本大学経済学部教授	金融危機における最後の貸し手機能の決定メカニズムと効果に関する実証研究：戦前期日本のケース	70万円	
1708	新熊隆嘉	関西大学経済学部教授	情報開示が資源国の汚職と紛争解決に与える影響：EITIとドッド・フランク法の検証	50万円	
1709	高橋悠也	ジョンズホプキンス大学経済学部 Assistant Professor	Bargaining with Delay in Litigation	105万円	高橋秀典 独マンハイム大学経済学部 Assistant Professor 本領崇一 同志社大学経済学部准教授 *2023/2/2/共同研究者追加
1710	田口聡志	同志社大学大学院商学研究科教授	FinTechの進展と経済制度の設計に係る実験経済学的研究	65万円	
1711	土屋陽一	東京理科大学経営学部講師	中央銀行の期待形成と情報の硬直性	60万円	
1712	敦賀貴之	大阪大学社会経済研究所教授	財政政策の波及効果に関する「新しい見解」の理論・実証分析	70万円	
1713	戸田アレクシ哲	カリフォルニア大学サンディエゴ校経済学部 Assistant Professor	証券化市場、国際資本収支、及びグローバルな社会的厚生について	90万円	

助成コード	研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
1714	中島清貴	甲南大学経済学部教授	金融政策が銀行の信用リスクテイキングに与える影響についての実証研究	70 万円	
1715	新関剛史	愛媛大学法文学部講師	ゼロ金利制約下において期待インフレ率が家計消費に与える影響の分析	40 万円	
1716	英邦広	関西大学商学部准教授	マイナス金利付き量的・質的金融緩和実施による金融市場への影響に関する実証分析	45 万円	
1717	Pierre-Yves DONZE	大阪大学大学院経済学研究科教授	医療器械産業におけるイノベーションの比較経済史（1960-2015年）：日本・アメリカ・ドイツ・スイス企業の特許の数量分析	65 万円	
1718	藤原賢哉	神戸大学大学院経営学研究科教授	P2P レンディングの経済的機能に関する研究	90 万円	劉亜静 広島修道大学経済科学部現代経済学科助教 地主敏樹 神戸大学大学院経済学研究科教授
1719	古川雄一	中京大学経済学部准教授	金融政策が経済成長に与える影響に関する理論分析	55 万円	
1720	松木隆	大阪学院大学経済学部教授	日本銀行の非伝統的金融政策のマクロ経済効果研究：日次データを用いた接近	95 万円	杉本喜美子 甲南大学マネジメント創造学部教授
1721	溝渕英之	龍谷大学経済学部准教授	マネー・ストック指標の理論的・実証的研究	40 万円	
1722	宮崎智視	神戸大学大学院経済学研究科准教授	景気刺激策としての公共投資が地域の雇用に与える影響	60 万円	

助成コード	研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
1723	山崎潤一	神戸大学大学院経済学研究科特命助教	移住による選好や価値観の変化：実験経済学的手法によるアプローチ	95 万円	SHARKHUU BOLOR 神戸大学大学院国際協力研究科博士前期

② 法律分野 [13 件 : 975 万円]

助成コード	研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
1724	青木則幸	早稲田大学法学学術院教授	事業の流動資産を目的物とする担保制度に関する日中韓の比較法研究	120 万円	平野裕之 慶應義塾大学大学院法務研究科教授 道垣内弘人 東京大学大学院法学政治学研究科教授
1725	荒井弘毅	秀明大学総合経営学部教授	地域金融機関の統合と競争法	50 万円	
1726	片山直也	慶應義塾大学大学院法務研究科教授	包括担保法制の比較研究（フランス法・ベルギー法・ケベック法）	75 万円	
1727	木村真生子	筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授	Regtech に関する一考察：自動監視システム・ロボアドバイザー	40 万円	
1728	久保田隆	早稲田大学大学院法務研究科教授	ブロックチェーン法制の構築と UNCITRAL モデル法に基づく法整備支援	70 万円	
1729	伊達竜太郎	沖縄国際大学法学部准教授	アンシトラル動産担保モデル法の実務的課題の検討	75 万円	不破茂 愛媛大学法文学部准教授

助成コード	研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
1730	玉田大	神戸大学大学院法学研究科教授	WTO 紛争解決手続における「判例」形成プロセスの研究	70 万円	
1731	張博一	小樽商科大学商学部准教授	金融サービス分野の自由化と国内規制	70 万円	
1732	西内康人	京都大学法学部准教授	担保責任の賠償範囲に関する経済分析：最判昭和 57・1・21 民集 36・1・71 を手掛かりに	60 万円	
1733	原恵美	学習院大学法務研究科（法科大学院）教授	金融取引における担保法制のあり方と今後の展望：金融取引の実態分析を通して	110 万円	小塚荘一郎 学習院大学法学部教授 コーエンズ久美子 山形大学人文社会科学部教授
1734	牧佐智代	新潟大学法学部講師	消費者信用市場の規律：開示規制を中心に	40 万円	
1735	松嶋隆弘	日本大学総合科学研究所教授	金融取引・企業取引と民事執行法改正	105 万円	内田義厚 早稲田大学法学学術院教授 山木戸勇一郎 北海道大学大学院法学研究科准教授 柳沢雄二 名城大学法学部准教授 杉本和士 法政大学法学部教授 西川佳代 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授
1736	宮下修一	中央大学大学院法務研究科教授	民法新時代における最高裁判例の意義の検証：民法（債権法）改正を受けて	90 万円	秋山靖浩 早稲田大学大学院法務研究科教授 都筑満雄 南山大学法務研究科教授 中原太郎 東北大学大学院法学研究科准教授 松井和彦 大阪大学大学院高等司法研究科教授

(2) 研究成果の刊行に対する助成 [3 件 : 330 万円]

① 経済分野 [1 件 : 105 万円]

助成コード	研究者名	申込時所属	書籍名	助成金額	共同研究者名・申込時所属 (順不同)
1737	中村亮介	筑波大学ビジネスサイエンス系准教授	『財務制限条項の実態・影響・役割：債務契約における会計情報の活用』 (中央経済社、2018 年)	105 万円	河内山拓磨 一橋大学大学院商学研究科講師

② 法律分野 [2 件 : 225 万円]

助成コード	研究者名	申込時所属	書籍名	助成金額	共同研究者名・申込時所属 (順不同)
1738	阿部裕介	東北大学大学院法学研究科准教授	『抵当権者の追及権について：抵当権実行制度の再定位のために』 (有斐閣、2018 年)	120 万円	
1739	山中利晃	東京大学大学院法学政治学研究科特任講師	『上場会社の経営監督における法的課題とその検討：経営者と監督者の責任を中心に』 (商事法務研究会、2018 年)	105 万円	

以上